

探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

一般社団法人高校生みらいラボ

【サービス名称】

探究学習を通じて個別最適な進路実現をサポートするトータルサポートプログラム

【サービスの支援項目】

カテゴリーⅠ 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月



■ 探究・校務改革支援サービスの概要

1. サービスの概要、特徴

自己分析を中心としたワークショップ実施サポート及び相談窓口の開設により、個別最適な進路実現をサポート

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

- ・ 独自のキャリアパスポート等のメソッドにより、地域格差なく生徒の「人生の軸」を明確にし、多様な進路実現を徹底サポート
- ・ コーディネーターが探究と進路指導を連携させ、学校のニーズやデータに基づいた個別最適なプログラムと持続可能な体制を構築

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

- ・ 進路納得度の向上のみならず、生徒の勉学や探究学習への主体性・モチベーションの向上に寄与。また、教員の授業準備～実施にかかる業務効率化・リソース削減を実現

(3) サービスの活用場面

- ・ 探究・総合的な学習の時間の授業設計および実施および振り返り時

(4) 1サービスあたりの標準販売価格：税抜9,320円※プログラムにかかる教材費が含まれます

2. サポート内容（サービスの利用に際しての自社のサポート体制等）

「キャリアパスポート作成ワークショップや自己分析ワークショップ」など、学校の課題・悩みに合わせた、自己分析の実施サポート・展開支援を実施。

また、探究連動型進路相談窓口の開設による生徒向けサポートができる体制を整備

探究学習における教員のノウハウ・時間・リソース不足という現場の課題に対し、教材準備から授業実施、生徒への個別伴走までを外部連携で包括的にサポートし解決します。

児童生徒・教職員が抱える課題

- 進路や入試形態が多様化する中で、生徒一人ひとりが本当に行きたい進路を引き出すことが難しい
- 生徒の悩みに向き合う指導スキルに自信がない&そのための時間も不足している
- 進路指導の時間を多く取れない

サービスが果たす役割

- 独自メソッドによる自己分析の効率化:ワークショップ形式で「人生の軸」を導き出し、手間のかかる自己分析を短時間で徹底サポート
- 個別伴走と教員のスキルアップ支援:専門スタッフによる個別サポートと、その知見・データの還元により、先生方の指導力向上と負担軽減を両立
- 体制構築支援:キャリアパスポートの可視化に加えて、個別サポートも組み合わせることで、効率的かつ手厚い持続可能な指導体制を構築

サービスの活用風景・授業の流れ(例)

総合型選抜への進学ニーズがあり、生徒一人ひとりに応じた志望動機・志望理由書の作成支援が求められていた

一方で、教員による個別支援には工数・難易度の限界がある。生徒数に対して、探究内容と進路を結びつけた伴走指導を行うことが難しい状況

「総合的な探究の時間」にて、自己探究・進路探究のワークショップを活用し、自己理解から探究活動、志望動機・志望理由書作成までを一連のプロセスとして設計・支援

教員負担を抑えながら総合型選抜に対応できる支援を実現



■探究・校務改革支援補助金における導入実証実績

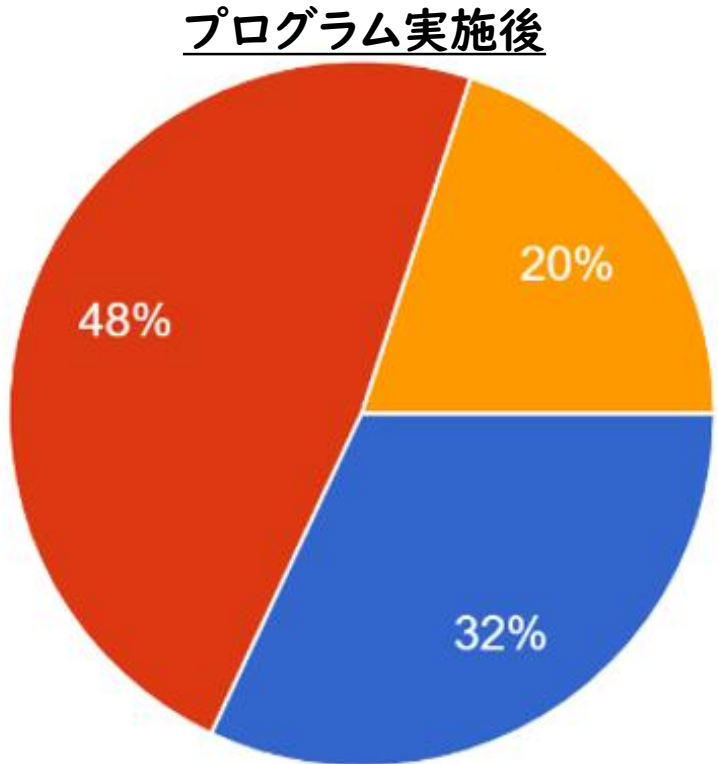
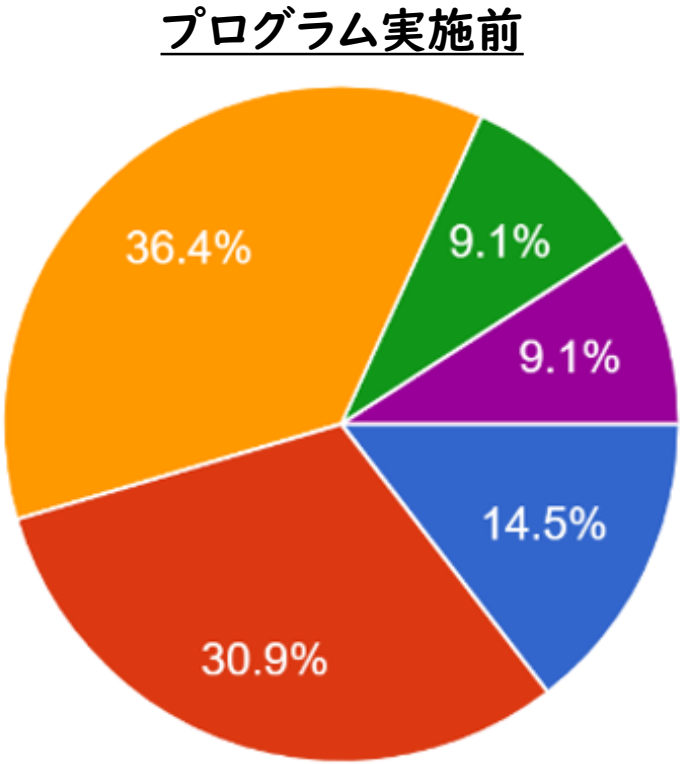
本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	16	学校等教育機関数	18校
--------	----	----------	-----

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	綾部市教育委員会	綾部市立綾部中学校	京都府	中学校	1-3	【総合的な探究の時間】自己分析の実施・展開に向けた支援、相談窓口の開設、振り返り
2	山形県教育委員会	山形県立高畠高等学校	山形県	高等学校	1-3	同上
3	学校法人岩谷学園	岩谷学園高等専修学校	神奈川県	高専	1-3	同上
4	大田原市教育委員会	大田原市立金田南中学校	栃木県	中学校	1-3	同上
5	鹿児島県教育委員会	鹿児島県立串木野高等学校	鹿児島県	高等学校	1-3	同上
6	学校法人文理佐藤学園	西武学園文理小学校	埼玉県	小学校	1-6	同上
7	藤田幸子	子どもの居場所クローバー	福岡県	フリースクール	1-6	同上
8	学校法人大隈記念早稲田佐賀学園	早稲田佐賀高等学校	佐賀県	高等学校	1-3	同上
9	学校法人大隈記念早稲田佐賀学園	早稲田佐賀中学校	佐賀県	中学校	1-3	同上
10	北海道教育委員会	北海道札幌西高等学校	北海道	高等学校	1-3	同上
11	福井県教育委員会	福井県立福井商業高等学校	福井県	高等学校	1-3	同上
12	学校法人西大和学園	西大和学園高等学校	奈良県	高等学校	1-3	同上
13	学校法人東洋大学	東洋大学附属姫路高等学校	兵庫県	高等学校	1-3	同上
14	学校法人舘田学園	五所川原第一高等学校	青森県	高等学校	1-3	同上
15	廿日市市教育委員会	廿日市市立大野東中学校	広島県	中学校	1-3	同上
16	学校法人古川学園	古川学園高等学校	宮城県	高等学校	1-3	同上
17	学校法人古川学園	古川学園中学校	宮城県	中学校	1-3	同上
18	佐賀県教育委員会	佐賀県立厳木高等学校	佐賀県	高等学校	1-3	同上

定量的効果検証

やりたいこと(志)は見つかっているか? (n=155)



- 5 とても明確
- 4
- 3
- 2
- 1 全くわからない

やりたいことが明確になっている割合が45.4%→80%へと大幅に上昇。
 教員の進路指導・面談時間および負担の削減にも寄与
 (教員へのインタビューからも「やりたいことが明確になったことで、ゼロから進路指導していた以前よりも手間が掛からなくなった」とコメントあり)

定性的効果検証

教員との振り返りや導入校生徒アンケート等を踏まえて定性効果を整理

1. 自己理解の深化

- 自己分析ワークショップを通じ、自分の特性や価値観を客観的に把握し、納得感を得ることで自己理解が促進
 - 「もやもやしていた進路がだんだんはっきりしてきた感じがする」(生徒コメント)
 - 「参加する前は大学は、行ければいいとしか思っていなかったが、ガイダンスを聴いてしっかりこの後の進路は自分がやりたいことを1番にして進路選びをしようと思った。」(生徒コメント)

2. 主要科目へのモチベーション向上

- 将来的にチャレンジしたい方向性が見えたことにより、目指したい進路に向けて、探究学習のみならず主要科目への勉強モチベーションもアップ
 - 「目指したい進路がはっきりしてきたので、科目の勉強もしっかりやりたいと思った。」(生徒コメント)
 - 「将来のやりたいことと、今の勉強が繋がっていると思えるようになった」(生徒コメント)

3. 教員の進路指導力の向上

- 自己分析ワークショップの授業実施やテキストの展開により、自己分析～探究～進路指導までの連結に関する構造的な理解が促進された
- キャリアパスポートの引継ぎにより、学年をまたいだ進路指導が可能になった
 - 「今まで何となくで進めてきた、探究や進路指導が、すべて1本の線につながっていることがわかった」(教員コメント)
 - 「自分のクラスの生徒のやりたいことや進路を、次の学年の担任に引き継げるようになった」(教員コメント)

生徒の声（プログラム後アンケートからコメント抜粋）

- もやもやしていた進路がだんだんはっきりしてきた感じがする
- 親や周りの意見に流されず自分で決めたいと思う
- 社会的に良いとされていることだけでなく自分はどうなりたいたのか考えた
- 参加する前は大学は、行ければいいとしか思っていなかったが、ガイダンスを聴いてしっかりこの後の進路は自分がやりたいことを1番にして進路選びをしようと思った。
- 志を立ててみてなにか自分の中でじっくりくるようなものがあり、それをうまく表現できないけど、それを今後の授業で知れたらいいなと思います。
- 日本や世界のために役に立つようにしたいです。

生徒それぞれの進度が異なることによる意欲・スキルの格差が課題。多様な生徒の特性に合わせた教材開発および伴走支援で、納得感のある進路実現を支えるための、持続可能な指導体制を構築

直面した課題

- 進路納得度の欠如: 受験直前の活動では時間が足りず、自己理解が不十分なまま進路決定を迎えてしまう
- 低学年の意欲格差: 早期導入時に、生徒間の進路意欲の差が授業態度のムラとして現れる
- スキルの障壁: 言語能力(外国籍等)やICT操作スキルの不足により、ワークについていけない生徒がいる

解決するための改善策

- 早期導入と理念統合: 低学年からの実施を推奨し、学校方針と連動した中長期的なプログラムを展開する
- 多様な生徒への対応: 語学力や習熟度に合わせた専用教材・ワークショップを開発し、誰一人取り残さない体制を整える
- 柔軟な運営と連携: 学校と協力した基礎スキルの指導や、個々の進度に配慮した余裕のある授業運営を行う。

■会社概要

社名	一般社団法人高校生みらいラボ
代表	喜多恒介
設立年月	2021年10月
本社	東京都目黒区東山2丁目6-14 NLDSVILLA101
資本金等	—
売上高等	非公開
従業員数	30名※業務委託含む
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・小中高向け出張授業・ワークショップ事業・学校支援(教員研修等)事業・合宿事業

■お問い合わせ窓口

担当:小林拓真

電話:090-1285-7773

Mail:mirailab.info@hsmirailab.org